

1	科目名（教科）	地理歴史	6	教科書名	
2	講座名	歴史総合		歴史総合（実教出版）	
3	開講学年	2	7	使用教材	
4	履修区分	必修		なし	
5	単位数	2			

1 科目の目標・学習内容

到達目標	社会的事象の歴史的な見方考え方を働かせ、課題を追究したり解決したり活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質、能力を育成することを目指す。				
学習内容	歴史の扉	近代化と私たち	国際秩序の変化や大衆化と私たち	グローバル化と私たち	

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	現代世界の歴史的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につける。	諸資料を用いて、近現代の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
【思】	思考・判断・表現	歴史に関わる諸事象から課題を見だし、多面的、多角的に考察するとともに公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	近現代の歴史の変化に関わる事象を概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、効果的に説明する力を養う。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる諸事象について、より良い社会の実現を目指し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	第1編 第1章 近代化への胎動	・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸時代の生産・流通と諸改革 ・幕政の改革と東アジア世界	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
5	第1編 第2章 欧米の市民革命と西洋の衝撃	・イギリスの産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
6	第1編 第2章 欧米の市民革命と西洋の衝撃	・オスマン帝国の衰退とロシア ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	8	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
7	第1編 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価

8	第1編 第4章 帝国主義の時代	・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命	4	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
9	第2編 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の対立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
10	第2編 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
11	第2編 第6章 経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発	7	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
12	第2編 第6章 経済危機と第二次世界大戦	・第二次世界大戦の終結 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本国憲法 ・朝鮮戦争と日本	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
1	第3編 第7章 冷戦と脱植民地化	・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長	4	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
2	第3編 第8章 多極化する世界	・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終結へ ・日本の経済大国化	6	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価
3	第3編 第9章 グローバル化と現代世界	・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容	3	【知】 課題に関連する概念や理論を十分に理解し、自分の考えに活かすことができる。 【思】 地図・年表・解説等に接し、自分の考えを論理的に導くことができる。 【態】 理解した内容を適切に表現するために粘り強く工夫することができる。	【知】 【思】 【態】	プリント作成における観点ごとの評価

4 単元テスト

各単元終了時（複数の単元をまとめることもあります）に単元テストを行います。

5 その他